

パートナーシップシティ

市民とのパートナーシップによるまちづくりを進める「鹿児島市」。
福祉や教育などさまざまな分野にわたる地域課題の解決に向け、行政と協働して取り組む市民活動団体やNPO法人などを紹介します。

Vol.14

NPO法人
かごしまアートネットワーク



もっとアートを身近に感じてもらいたい

今から6年前の2005年、アートへの認知を高めるさまざまな事業に取り組むため、鹿児島市芸術文化協会の有志を中心に、NPO法人かごしまアートネットワークを立ち上げました。

NPO法人として活動するうえで大切にしていることは、名前にもある「ネットワーク」つながりこと。

何を「つながり」のかというと、一つ目は、芸術のジャンルを超えたアーティスト同士。二つ目は、アーティストと市民。そして三つ目は、アートと地域です。それぞれの「縁」を作っていきたくと考えています。

現在、音楽、舞踊、美術など、さまざまなアーティスト約80人が会員となっています。会員は、普段もそれぞれの場所で、音楽や舞踊、美術など、自分の芸術活動を続けています。

その会員たちがNPO法人の一員として心掛けていることは、私たちの活動を市民の皆さんに知ってもらい、少しでも芸術を身近なものとして感じてもらうことです。日常生活の中でたくさんの人に芸術という潤いを感じてもらえるよう、潤滑油のような役割が果たせたらと思っています。

今につながる芸術体験を

現在、特に力を入れてしている活動が、芸術家派遣プロジェクトです。小学校や中学校に芸術家を派遣して、子どもたちの芸術体験を広めることが目的です。小さいころから芸術に親しむことが、将来、芸術へのハードルを低くすることにつながります。大人になって芸術から離れてしまったり、芸術に触れる機会が少なくなったりしてしまうことは仕方ない。でも、小さいときの体験を思い出して、今につなげてほしい。例え

ば、CMで流れた音楽が、小さいときに聞いたクラシック音楽だということ思い出すだけで、音楽がぐっと身近なものになりますよね。それは美術や演劇などほかの芸術でも同じこと。幼い頃に芸術を直接体験することは、とても貴重です。記憶にも残ります。

アーティストにとっても、芸術に普段あまり接することのない人との出会いの場になるので、芸術をどう体験してもらおうのかを常に考えながら活動しています。

このほかにも、市民の皆さんに芸術に親しむ機会を提供するために、毎週金曜日に市役所みなと大通り別館の市民アートギャラリーでランチタイムコンサートを開催しています。普段で行けて、30分という短い時間なので、音楽を気軽に聴いてもらえる内容となっています。

毎年、かごしま環境未来館で開催する環境アートフェスティバルは、美術を中心に、環境をテーマと

した、今を考える新しい視点の取り組みです。参加者は親子が多いのですが、アートを通して自然を感じたり、親子の触れ合いを確かめることができる場になっています。

アートを気軽に語る場がほしい

現在、若手のアーティストが自分で個展を開く機会はほとんどありません。そんな若手アーティストを紹介するために、市内の画廊やギャラリーと連携して、鹿児島ギャラリープロジェクトにも取り組んでいます。若手アーティストを多くの人に知ってもらうことが目的ですが、画廊・ギャラリーの存在を知ってもらうことも意識しています。これも芸術を身近なものとして感じてもらおう第一歩につながります。

そして、芸術を見たり聴いたりした後「語る場」があればと考えています。ヨーロッパでは、コンサートの後に近くのカフェで聴衆同士で談笑



芸術家派遣プロジェクト(宇宿小学校)



ランチタイムコンサート(市役所みなと大通り別館市民アートギャラリー)



環境アートフェスティバルで作成したオブジェ

取◆材◆メ◆モ

一言にアートと言っても、音楽や美術など、NPO法人としての活動は多岐にわたります。どのアートを語るときも生き生きとした丸田さんの表情が印象的で、芸術に対する思いの強さが感じられました。

問い合わせ ☎ 219・7671



NPO法人
かこしまアートネットワーク
理事長 **丸田 真悟**さん

話をしてくれた人

する姿がよく見られるそうです。創作する側と鑑賞する側が交流できる空間、芸術鑑賞後の交流会のような、かこしまらず自由に語り合える場を提供していくのが、これからの目標です。